

## 令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

静岡県

行事名称	第69回文化財防火デー 釣月院文化財消防訓練
実施期間・日時	令和5年1月22日(日) 9:40~10:30
実施場所	釣月院(静岡県牧之原市地頭方868)
主催者	釣月院、静岡市牧之原消防署

## ■実施内容

## 訓練の想定

同日午前10時頃、釣月院東側の住宅部分から出火し、本堂への延焼危険あり

## 訓練の内容

釣月院管理者による通報訓練を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。

## 参加者及び役割分担

釣月院管理者(1人):119番通報、講評

地頭方区長(1人):現場立会い

釣月院檀家役員(6人):現場立会い

牧之原市消防団(40人):放水訓練、講評(消防団長のみ)

静岡市牧之原消防署(20人):全体統括、放水訓練、訓練概要説明、講評(消防署長のみ)

牧之原市防災課(2人):現場立会い

牧之原市社会教育課(1人):現場立会い

## 特に工夫した点

釣月院には、消防ポンプ及び放水銃2基が設置されているため、通常の放水訓練に加えて、実際にポンプを稼働して放水銃で放水する訓練も実施した。また、ポンプや放水銃の操作は、地元の消防団員が行うことで地域との連携を高める試みを行った。

## 問題点・課題

地域住民の高齢化や少子化が進み、寺院を支える檀家の予算及び人員が不足しつつある。そのため、文化財に必要な投資ができず、その保護活動に支障をきたす恐れがある。

## その他

文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、消防の必要性を確認する機会となっている。ここ数年は、コロナ禍や雨天によって実施できない年が続いたため、今回の訓練によって、そのことを再認識する良い契機となった。

## 訓練風景

